

様式第3の6

水銀排出施設設置(使用→変更)届出書

該当する事項以外を抹消する

〇〇年〇〇月〇〇日

必ず記入すること

栃木県〇〇環境森林(管理)事務所長 様

届出者

氏名又は名称及び住所並びに
法人にあってはその代表者の氏名

(電話番号) 〇〇市〇〇町〇〇-〇〇 ㊦〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇株式会社

代表取締役 ○ ○ ○ ○

TEL〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

水銀排出発生施設を設置する
工場名等を記入する

注)届出代理者が提出者となる場合はP2の3(3)参照

大気汚染防止法第18条の28第1項(第18条の29第1項、第18条の30第1項)の規定により、水銀排出施設については、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	㊦〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇-〇〇	※受理年月日	年 月 日
水銀排出施設の種別	8 廃棄物焼却炉	※施設番号	
水銀排出施設の構造	別紙1のとおり。	※審査結果	
水銀排出施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※備 考	
水銀等の処理の方法	別紙3のとおり。		
参考事項			

- 備考 ① 水銀排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行規則(以下「施行規則」という。)別表第3の3に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙1

水銀排出施設の構造

工場又は事業所における施設番号		1号廃棄物焼却炉	2号廃棄物焼却炉
名称及び型式		〇〇社製 〇〇焼却炉 〇〇-〇〇型	〇〇社製 〇〇焼却炉 〇〇-〇〇型
設置年月		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
使用開始予定年月日		〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
規模	燃料の燃焼能力(重油換算L/h)	〇 〇L/h	〇 〇L/h
	原料の処理能力(t/h)		
	火格子面積又は羽口面断面積(m ²)	〇 〇m ²	〇 〇m ²
	変圧器の定格容量(kVA)		
	焼却能力(kg/h)	〇 〇kg/h	〇 〇kg/h

- 備考 ① 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記載すること。
- ② 規模の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第3の3の中欄に規定する項目について記載すること。
- 3 水銀発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記載し、日本産業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

燃焼能力の最大を記入する。
 なお、重油換算に当たっては、次の換算係数を用いること
 液体燃料は 10L/h → 10L/h、固体燃料は 16kg/h → 10L/h、
 気体燃料は 16m³/h → 10L/h

別紙2

水銀排出施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号		1号廃棄物焼却炉		2号廃棄物焼却炉	
使用状況	1日の使用時間及び月用日数等	○時～○時 ○時間/回 ○回/日○日/月		○時～○時 ○時間/回 ○回/日○日/月	
	季節変動			なし	
原材料（水銀等の排出に影響のあるものに限る。）	種類	◆◆、▲▲		○○	
	使用割合	◆◆：▲▲＝○：○		○○	
	原材料中の水銀等の含有割合	◆◆ ○mg/kg ▲▲ ○mg/kg		○○	
	1日の使用量	◆◆ ○kg ▲▲ ○kg		○○	
燃料（水銀等の排出に影響のあるものに限る）	種類	○○		○○	
	燃料中の水銀等の含有割合	○○		○○	
	通常の使用量（L/h）	○○		○○	
	混焼割合				
排出ガス量（m ³ /h）	湿り	最大 ○○	通常 ○○	最大 ○○	通常 ○○
	乾き	最大 ○○	通常 ○○	最大 ○○	通常 ○○
排出ガス中の酸素濃度（%）		最大 ○○	通常 ○○	最大 ○○	通常 ○○
水銀濃度（ug/m ³ ）	全水銀	○○		○○	
	ガス状水銀	○○		○○	
	粒子状水銀	○○		○○	
参考事項					

- 備考 1 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、水銀濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
- 2 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。
- 3 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 4 参考事項の欄には、水銀等の排出状況が著しい変動がある施設についての一工程の排出量の変動の状況、水銀等の排出抑制のために採っている方法等を記載すること。

別紙3

水銀等の処理の方法

水銀等の処理施設の工場又は事業場における施設番号			1号煙突	2号ボイラー用集じん機	
処理に係る水銀排出施設の工場又は事業場における施設番号			1号廃棄物焼却炉	2号廃棄物焼却炉	
水銀等の処理施設の種類、名称及び型式			単独煙突	〇〇社製 〇〇式サイクロン〇〇型	
設置年月日			年月日	年月日	
着手予定年月日			〇年〇月〇日	〇年〇月〇日	
使用開始予定年月日			〇年〇月〇日	〇年〇月〇日	
処理能力	排出ガス量 (m ³ /h)	湿り	最大 通常	最大 通常	
		乾き	最大 通常	最大 通常	
	排出ガス温度 (°C)	処理前	〇 〇	〇 〇	
		処理後	〇 〇	〇 〇	
	排出ガス中の酸素濃度 (%)		〇 〇	〇 〇	
	水銀濃度 (ug/m ³)	全水銀	処理前	〇 〇	〇 〇
			処理後	〇 〇	〇 〇
		ガス状水銀	処理前	〇 〇	〇 〇
			処理後	〇 〇	〇 〇
	粒子状水銀	処理前	〇 〇	〇 〇	
		処理後	〇 〇	〇 〇	
	捕集効率 (%)	全水銀		〇 〇	〇 〇
ガス状水銀		〇 〇	〇 〇		
粒子状水銀		〇 〇	〇 〇		
使用状況	一日の使用時間及び月使用日数等		時～時 時間/回 回/月 日/月	時～時 時間/回 回/月 日/月	
	季節変動				

- 備考 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設（集じん機等）について、記載すること。
- 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記載すること。
- 3 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、水銀濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
- 4 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 5 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

(7-2) 定形的添付書類) : 参考事項の記載事項は、P12~P13 のとおりである。

(別紙1)

〇〇年〇〇月〇〇日

栃木県〇〇環境森林(管理)事務所長 様

必ず記入すること

届出者 氏名又は名称及び住所並びに
法人にあってはその代表者の氏名

(電話番号) 〇〇市〇〇町〇〇-〇〇 ㊦〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇株式会社

代表取締役 ○ ○ ○ ○

TEL〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

注) 届出代理者が提出者となる場合 P2の3(3)参照

大気汚染防止法施行規則の一部を改正する省令(平成28年環境省令第22号)附則第2条第2項に基づく石灰石に係る経過措置の適用について(届出)

大気汚染防止法施行規則の一部を改正する省令(平成28年環境省令第22号)附則第2条第2項に基づく石灰石に係る経過措置の適用について、以下のとおり、原料として使用する石灰石中の水銀含有量が高く、石灰石の変更も困難であるため、石灰石中の水銀含有量の分析結果を添えて届け出ます。

記

- 1 石灰石中の水銀含有量(mg/kg)
- 2 原料として使用する石灰石を変更することが困難な理由

(添付書面)

精度管理に関する情報

(別紙2)

〇〇年〇〇月〇〇日

栃木県〇〇環境森林(管理)事務所長 様

必ず記入すること

届出者 氏名又は名称及び住所並びに

法人にあつてはその代表者の氏名

(電話番号) 〇〇市〇〇町〇〇-〇〇 ㊦〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇株式会社

代表取締役 ○ ○ ○ ○

TEL〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

注) 届出代理者が提出者となる場合は p 2 の 3 (3) 参照

大気汚染防止法施行規則の一部を改正する省令(平成 28 年環境省令第 22 号)附則第 2 条第 2 項に基づく石灰石に係る経過措置の適用の解除について(届出)

大気汚染防止法施行規則の一部を改正する省令(平成 28 年環境省令第 22 号)附則第 2 条第 2 項に基づく石灰石に係る経過措置の適用を受けていたところ、以下のとおり、原料として使用する石灰石中の水銀含有量 0.05mg/kg 未満である月が 4 ヶ月以上継続したため、石灰石に係る経過措置の解除を届け出ます。

記

- ・ 過去 4 ヶ月の石灰石中の水銀含有量(mg/kg)

(添付書面)

精度管理に関する情報